

**令和元年度 京都市歴史資料館評議委員会議（書面）
評議委員からの御意見等**

1 評議委員

荒木かおり，宇佐美英機，片山真理子，坂本博司，竹村佳子，玉城玲子，武川寛

2 御意見等

(1) 全体

・評価する。

少ない予算で良く頑張っている(成果を出している)と評価する。

・令和元年度事業について（良い循環が築けている等）

館所蔵あるいは地域の資料で構成される展示内容は，博物館の本来の姿であるともいえ，市民の期待に応え，関心に沿うものである。

展示テーマも，館所蔵名品展，指定文化財の披露，子供向け事業，周年事業，話題の大河ドラマ関連とバランスがよく，過去最多の入館者数を記録したのは評価されるべき成果である。

地道な調査や文化財保護の活動成果をうまく利用して展覧会を運営することで，良い循環が築けている。

京都アスニーや考古資料館とも連携が進んでおり，実質的な充実が図られている。

(2) 施設・体制の整備

・歴史・文化全体を網羅した施設の設置

京都市内には，歴史資料館の他，考古資料館，平安京創生館（京都アスニー），学校歴史博物館と散在しており，京都市独自にその歴史・文化全体を俯瞰する施設がない。是非設置してほしい。

・科学研究費が申請できるような体制整備(博物館相当施設の認可取得)

中長期的には博物館相当施設として認可を受け，研究者番号を付与された学芸員・研究員を充足させ，科学研究費の助成申請ができる体制を整備する必要がある。

・歴史資料館運営予算について（資料の量に見合った人材の配置）

大規模施設を持たないからか，携わる人員の絶対数が極端に少ない。

真に歴史を活かした未来を築くために，埋もれている資料，保全すべき資料の量に見合う人材の配置をすべきである。

- ・**収蔵庫の拡充**

できるだけ早く、収蔵庫の拡充を願う。

(3) デジタル化

- ・**資料の電子映像化の推進**

収蔵品の保存・公開は、IT化を進めるため予算の増額を働きかける必要があるが、文化庁だけでなく、総務省や民間企業の財団などに協力を仰ぐことも可能である。

- ・**デジタル・アーカイブの実施**

収蔵・公開している文書の目録をPDF化しHPに掲載してほしい。毎回、紙媒体の文書目録を確認し、閲覧したい史料を請求するのは煩瑣である。

- ・**デジタル・アーカイブ事業の推進**

古文書128,310点という膨大な資料のデジタル・アーカイブ事業は大がかりになる。計画的に進めていただきたい。京都の歴史的財産が世界中の誰もが共有できるものになるのが望まれており、それを実現するのが資料館の使命である。

- ・**未整理の保管資料の目録作成・公開(大学との協同による推進)**

未整理のままで保管している文書群は、史料目録を作成し公開に供するという体制を立ち上げるべきである。この作業は、歴史講座を有する大学が京都にはいくつもあり、教員の協力を得て研究指導の一環として協同で実施することも検討すべきである。

(4) 公開・閲覧

- ・**市史編纂において収集した他機関所蔵資料(マイクロ写真)の公開・閲覧**

市史編纂の過程で収集している他機関所蔵資料(マイクロ写真)は、先方の許可を得て資料館で公開・閲覧できるようにしてほしい。

例えば東京大学法学部法制史資料室で収集した資料の写真を所蔵しているが、一般公開されていない。東大からは「歴史資料館で閲覧に供してもらってもいいのです。」と言われ、私に閲覧許可証を発行してくれたが、閲覧できなかった。

また、私が所蔵している近世京都に係る原史料を、全点貴館に撮影をしてもらった。原蔵者の公開許可申請はいらないとお願いしたが、許可されていないのは不本意である。

(5) その他

- ・**新たな刊行事業の実施**

開館以来、刊行事業を中心とした施設というイメージがある。京都は、テーマがいくらでもあり、焦点がしぼりにくい、新たな刊行事業を進めていただきたい。

・ **展示について（立体展示の多用，PR の推進）**

展示に関しては立体物がメインの方が，分かりやすく，一般向けする。

もっとポスター等でアピールしてはどうか。

・ **歴史資料館の PR の推進**

歴史資料館の存在を国内外からの京都の観光客に知ってもらうべきである。

展示会ごとの資料は，解説内容も紙質も他の美術館・博物館より勝るものである。例えば 100 円で有償化し，その分でリーフレットを作成し，美術館や博物館などで PR してはどうか。

また，来館者が，固定層が中心である。一般来館者の多くは，展示資料の鑑賞のみなので，資料の閲覧についても PR の必要がある。

・ **館外でのイベントの実施**

館外に出る催しがあってよい。例えば，一つのジャンルに絞り，史跡など解説を交えて見て歩くなど。

・ **社会科教育の一環としての歴史資料館の活用**

小学校高学年・中学生等の社会科教育の一環としての歴史資料館を活用してはどうか。

・ **考古資料館，学校歴史博物館との展示等の協同開催**

考古資料館，学校歴史博物館と協同で展示等を解説する機会を設けてはどうか。京都市の歴史を通観できる。

・ **積極的な資料収集の実施**

世代交代，町屋の建替え・取り壊しが進む中，歴史資料館への寄贈，問い合わせについて積極的な広報が必要である。市民しんぶん，地下鉄，市バスへの掲示等積極的に取り組んでほしい。貴重な資料が失われることがあってはならない。